



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月14日

上場会社名 サンコール株式会社

上場取引所 東

コード番号 5985 URL <http://www.suncall.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山主 千尋

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 業務・管理部門長 (氏名) 杉村 和俊

TEL 075-881-5280

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	30,984	10.4	1,706	3.7	2,037	71.6	1,769	155.6
29年3月期第3四半期	28,059	1.7	1,646	5.2	1,187	15.0	692	29.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,393百万円 ( %) 29年3月期第3四半期 887百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	55.65	55.12
29年3月期第3四半期	21.81	21.58

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	48,855	34,707	70.8	1,086.18
29年3月期	45,296	32,874	72.3	1,030.71

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 34,581百万円 29年3月期 32,735百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		8.00		10.00	18.00
30年3月期		8.00			
30年3月期(予想)				10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	9.3	2,700	20.0	2,600	49.9	2,000	82.9	62.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	34,057,923 株	29年3月期	34,057,923 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	2,220,391 株	29年3月期	2,297,476 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	31,806,925 株	29年3月期3Q	31,746,486 株

(注)自己株式数には業績連動型株式報酬制度に係る信託口に残存する当社株式が含まれております。  
(自己株式数 30年3月期3Q 462,760株 29年3月期 500,000株)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(持分法適用の範囲の重要な変更に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
3. 海外売上高 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## 《全般的概要》

## [経営成績及び事業環境]

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善するなか、個人消費も緩やかに持ち直したことにより回復基調を辿りました。

世界経済では、米国は堅調な個人消費を中心に設備投資も増勢を維持し、欧州は内外需のバランスのとれた景気回復となりました。中国では政策効果などにより持ち直しの動きが続き、その他アジア地域では先進国経済が復したことを背景に良好な輸出環境となりました。

当社グループの主な事業領域である自動車業界は、SUV等の大型車が各国の自動車販売台数を下支えし、日本では軽自動車の需要も順調でしたが、米国では販売台数が前年を下回りました。

## [連結業績]

当社グループの業績は、日本やアジアで自動車分野が好調に推移し前年同期と比べ増収増益となりました。

売上高は、自動車関連製品ではエンジン用部品が中心に伸び、電子情報通信分野の大容量・高性能HDD対応サスペンションの需要も高水準を維持したため、309億84百万円（前年同期間比10.4%増）となりました。

利益面では、HDD用サスペンションの新モデル能増に伴うコストが膨らみましたが、北米事業の生産性改善遅れによる損失幅が下期から縮小し、アジア拠点で自動車分野の増益基調が持続しました。その結果、営業利益は17億6百万円（同3.7%増）、経常利益は為替環境の改善などで20億37百万円（同71.6%増）、特別利益として有価証券売却益などもあり親会社株主に帰属する四半期純利益は17億69百万円（同155.6%増）となりました。

## 《セグメントの業績》

## [日本]

自動車分野では北米市場向けの弁ばね用鋼材の販売がメキシコ子会社への移管により減少しましたが、弁ばねやミッション用ばね等の自動車関連製品は順調に推移しました。また電子情報通信分野では大容量・高性能HDD用サスペンションの高い需要が継続しました。

その結果、セグメント売上高は210億96百万円（前年同期間比4.9%増）となりましたが、おもに北米市場向け弁ばね用鋼材販売の減収やHDD用サスペンションの増産ラインの立ち上げコスト負担が大きく、セグメント利益は前年同水準の14億36百万円となりました。

## [北米]

メキシコ子会社では前年第2四半期より材料関連製品などの販売を開始した後、概ね計画通りに推移し、セグメント売上高は42億58百万円（前年同期間比11.8%増）となりました。

利益面では、自動車分野での生産性改善遅れによる損失幅が下半期から縮小傾向にありますが、当第3四半期累計期間のセグメント損失は2億76百万円（前年同期間は2億41百万円のセグメント損失）となりました。

## [アジア]

自動車分野では好調なエンジン用部品が売上を牽引し、弁ばね用鋼材販売も中国市場で順調に推移しました。またプリンター関連は中国やベトナムで回復基調となりました。

その結果、セグメント売上高は73億16百万円（前年同期間比9.2%増）、セグメント利益は10億14百万円（同11.3%増）と前年同期に比べ増収増益となりました。

## 《製品区分別の売上業績》

製品区分の名称	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減	
	自平成28年4月1日 至平成28年12月31日		自平成29年4月1日 至平成29年12月31日			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
材料関連製品	3,315	11.8	3,631	11.7	316	9.5
自動車関連製品	17,243	61.5	18,721	60.4	1,478	8.6
自動車分野	20,558	73.3	22,353	72.1	1,794	8.7
HDD用サスペンション	3,515	12.5	4,576	14.8	1,061	30.2
プリンター関連	2,637	9.4	2,785	9.0	148	5.6
通信関連	839	3.0	793	2.6	△45	△5.4
電子情報通信分野	6,991	24.9	8,156	26.4	1,164	16.7
その他製品	509	1.8	474	1.5	△34	△6.8
合計	28,059	100.0	30,984	100.0	2,924	10.4

(注)当期より製品区分はホームページや会社カタログ等との統一を図るため上記表中の名称に変更しております。  
 なお、旧名称と上記表中名称の製品カテゴリーは概ね一致しておりますが、一部の製品については区分変更して  
 いますので、上記金額は変更後にて記載しております。

(自動車分野)

[材料関連製品]

材料関連製品は、新たな供給拠点からのアジア・北米市場向け販売が順調に増加したほか、日本からは欧州向けの輸出販売が拡大しました。またピストンリング用材などの精密異形材も堅調に推移した結果、売上高は36億31百万円（前年同期間比9.5%増）となりました。

[自動車関連製品]

自動車関連製品の販売は、エンジン用及びミッション用部品が日本やアジアで伸長し、またHV関連部品も増加基調となりました。その結果、売上高は187億21百万円（前年同期間比8.6%増）となりました。

(電子情報通信分野)

[HDD用サスペンション]

HDD用サスペンションは、サーバー等の大容量・高性能HDD対応モデルの旺盛な需要が続き、売上高は45億76百万円（前年同期間比30.2%増）と前年同期に比べ大きく増加しました。

[プリンター関連]

プリンター関連は、一部で需要回復の兆しがみられ、おもに中国では樹脂コートTUBEシャフト、ベトナムではTUBEシャフトや給紙制御部品のトルクリミッターの販売が増加し、売上高は27億85百万円（前年同期間比5.6%増）となりました。

[通信関連]

通信関連は、米国では販路開拓に注力したものの販売回復には至らず、また中国での販売も減速したため、売上高は7億93百万円（前年同期間比5.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産の状況

[資産]

総資産は488億55百万円（前連結会計年度末比35億59百万円増）となりました。これはおもに、受取手形及び売掛金が6億33百万円、原材料及び貯蔵品並びに仕掛品を合わせ5億80百万円、設備投資等により有形固定資産が3億81百万円増加したことに加え、借入や投資有価証券の売却等により現金及び預金が20億21百万円増加したことによります。

[負債]

負債は141億47百万円（前連結会計年度末比17億25百万円増）となりました。これはおもに、支払手形及び買掛金が8億51百万円、為替リスクの低減目的から関係会社間資金貸借取引を外部借入へ切り替えたこと等により借入金が増加したことに由来します。

[純資産]

純資産は347億7百万円（前連結会計年度末比18億33百万円増）となりました。これはおもに、利益剰余金が配当支払により5億80百万円減少したものの親会社株主に帰属する四半期純利益により17億69百万円増加し、またその他の包括利益累計額におけるその他有価証券評価差額金が株価上昇により5億26百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては平成29年5月12日に公表いたしました業績予想から修正しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,865	9,887
受取手形及び売掛金	8,470	9,103
商品及び製品	1,604	1,599
仕掛品	1,655	2,007
原材料及び貯蔵品	1,697	1,925
その他	1,106	789
流動資産合計	22,401	25,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,015	4,941
機械装置及び運搬具(純額)	7,853	7,996
その他(純額)	3,964	4,276
有形固定資産合計	16,833	17,215
無形固定資産	351	313
投資その他の資産		
投資有価証券	4,908	5,166
その他	801	846
投資その他の資産合計	5,709	6,012
固定資産合計	22,895	23,541
資産合計	45,296	48,855
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,518	5,369
短期借入金	83	175
1年内返済予定の長期借入金	99	414
未払法人税等	378	236
役員賞与引当金	—	16
賞与引当金	398	250
その他	3,680	3,498
流動負債合計	9,158	9,961
固定負債		
長期借入金	1,398	2,226
退職給付に係る負債	819	836
その他	1,045	1,123
固定負債合計	3,263	4,186
負債合計	12,422	14,147

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,830	2,827
利益剰余金	23,815	25,004
自己株式	△970	△934
株主資本合計	30,483	31,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,294	2,820
繰延ヘッジ損益	2	△0
為替換算調整勘定	△83	10
退職給付に係る調整累計額	38	44
その他の包括利益累計額合計	2,252	2,875
新株予約権	138	126
純資産合計	32,874	34,707
負債純資産合計	45,296	48,855



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	28,059	30,984
売上原価	22,932	25,704
売上総利益	5,127	5,279
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	651	546
報酬及び給料手当	903	909
役員賞与引当金繰入額	17	16
賞与引当金繰入額	77	50
退職給付費用	63	62
その他	1,766	1,987
販売費及び一般管理費合計	3,480	3,573
営業利益	1,646	1,706
営業外収益		
受取配当金	117	124
物品売却益	46	77
為替差益	—	190
その他	76	90
営業外収益合計	240	482
営業外費用		
支払利息	37	86
持分法による投資損失	54	32
為替差損	595	—
その他	12	32
営業外費用合計	699	152
経常利益	1,187	2,037
特別利益		
投資有価証券売却益	0	361
子会社清算益	—	56
その他	0	6
特別利益合計	0	424
特別損失		
固定資産廃棄損	15	7
その他	1	4
特別損失合計	16	11
税金等調整前四半期純利益	1,171	2,450
法人税、住民税及び事業税	392	609
法人税等調整額	86	70
法人税等合計	479	680
四半期純利益	692	1,769
親会社株主に帰属する四半期純利益	692	1,769

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	692	1,769
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	345	526
繰延ヘッジ損益	△33	△3
為替換算調整勘定	△1,874	88
退職給付に係る調整額	12	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	5
その他の包括利益合計	△1,580	623
四半期包括利益	△887	2,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△887	2,393
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法適用の範囲の重要な変更に関する注記)

前連結会計年度より、関連会社HS POWER SPRING MEXICO S.A. de C.V.は、親会社株主に帰属する当期純利益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）が連結財務諸表に及ぼす影響に重要性が増したため持分法の適用の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	17,995	3,809	6,254	28,059	—	28,059
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,115	0	445	2,562	△2,562	—
計	20,111	3,810	6,700	30,621	△2,562	28,059
セグメント利益又は損失(△)	1,478	△241	911	2,148	△501	1,646

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△501百万円には、セグメント間取引消去△23百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△478百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務・管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	19,743	4,258	6,983	30,984	—	30,984
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,353	0	333	1,687	△1,687	—
計	21,096	4,258	7,316	32,671	△1,687	30,984
セグメント利益又は損失(△)	1,436	△276	1,014	2,174	△467	1,706

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△467百万円には、セグメント間取引消去42百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△510百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務・管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 海外売上高

前第3四半期末連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

	米国	中国	フィリピン	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,496	3,881	2,872	5,090	15,341
II 連結売上高(百万円)					28,059
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.5	13.8	10.2	18.2	54.7

当第3四半期末連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

	米国	中国	フィリピン	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,250	4,475	3,883	5,691	17,300
II 連結売上高(百万円)					30,984
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.5	14.4	12.5	18.4	55.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 米国……………米国

(2) 中国……………中国

(3) フィリピン……………フィリピン

(4) その他の地域……………韓国、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、インド、シンガポール  
ブラジル、メキシコ、ドイツ、スイス

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。